松江市高井奨学金

令和４年度奨学生募集

募集要項

松江市教育委員会では、松江市雑賀町に居住しておられ本市の児童生徒の健全育成のために財産を寄附された故高井末彦氏のご意志を引き継ぎ、奨学金の給付事業を実施しています。

特に優れた素質と向学心を持ちながら、経済的な理由により修学が困難な学生に対し、選考のうえ奨学金を給付します。

・募集概要・

- 採用人数：　1名
- 給付月額：　17,000円～19,000円

・出願方法・

- 受付期間：令和4年4月1日（金）～5月31日（火）17時15分まで
- 提出書類：次の書類を1部提出【郵送可、当日消印有効】

1. 奨学生願書	添付様式第1号を使用
2. 家計調書	添付様式第2号を使用
3. 奨学生推薦調書	添付様式第3号（高校）又は第4号（高専）を使用　※出身学校（高校又は高専）で作成
4. 在学証明書	在学する学校が発行する証明書
5. 住民票	本人及び本人と生計を同じくする親族
6. 所得状況等の調査に関する同意書	添付様式第5号を使用
7. 前年度の成績証明書	次のいずれかに該当する場合に提出 ・高専の専攻科へ入学する場合 ・大学へ編入学する場合 ・前年度に引き続き高専又は大学に在学する場合

・結果通知・

- 奨学生選考委員会を開き、7月中旬頃に出願者全員に採否結果を郵送でお知らせします。

・申込先／連絡先・

- 〒690-8540　松江市末次町86　松江市教育委員会教育総務課　☎0852-55-5424

松江市ホームページ http://www.city.matsue.shimane.jp/でもご案内しています。

松江市高井奨学金の概要

出願資格	次の1又は2に該当し、かつ、3～6をすべて満たすこと 1. 大学に新入学又は既に在学する人 2. 高等専門学校4年生、5年生及び専攻科に進級或いは既に在学する人 3. 父母又はこれに代わる人が松江市に居住する人 4. 経済的な理由により修学が困難な人 5. 出身学校長が推薦する人 6. 学業成績が特に優秀な人		
給付額	高等専門学校 （4年次・5年次・専攻科） 大学	自宅通学	月額17,000円
		自宅外通学	月額19,000円
給付期間	令和4年4月から在学する学校を卒業するまでの最短修業年限の最終月まで		
給付方法	年2回に分けて給付		
返還方法	返還不要		
奨学金の併給	「松江市高井奨学金」は原則として、「他の奨学金」と重複して奨学金を受けることができます。ただし、他の奨学金の中には、重複受給を認めない場合もありますので、ご注意ください。		
休止廃止	奨学生が次に掲げる事由に該当したときは、奨学金の給付を休止又は廃止することがあります。 1. 退学、休学、長期欠席したとき 2. 学業成績不振、操行不良等奨学生としてふさわしくないと認められるとき 3. 父母又はこれに代わる人が松江市に居住しなくなったとき 4. 奨学金の給付を辞退したとき 5. 奨学金を必要としないと認められるとき		

様式第１号(第２条関係)

奨　学　生　願　書

松江市高井奨学金奨学生として給付を受けたいので、関係書類を添え申請します。

令和　　年　　月　　日

松江市長　上定　昭仁　様

本　　人　住　所

氏　名　　㊞

電　話

保　証　人　住　所

職　業

氏　名　　㊞

電　話

保　証　人　住　所

職　業

氏　名　　㊞

電　話

【関係書類】

1　家計調書

2　奨学生推薦調書

3　所得状況等の調査に関する同意書

4　在学証明書

5　本人及び本人と生計を同じくする親族の住民票

6　前年度の成績証明書（該当者のみ）

記入例

様式第１号(第２条関係)

奨学生願書

松江市高井奨学金奨学生として給付を受けたいので、関係書類を添え申請します。

令和　　年　　月　　日

提出年月日を記入する。

松江市長　上定　昭仁　様

本人住所

氏名　　㊞

電話

保証人住所

職業

氏名　　㊞

電話

保証人住所

職業

氏名　　㊞

電話

・必ず全ての項目を記入すること。
・住所は住民票と関係なく現在住んでいる場所の住所を記入する。
・保証人のうち１名は保護者、１名は別生計の方とする。

【関係書類】

1　家計調書

2　奨学生推薦調書

3　所得状況等の調査に関する同意書

4　在学証明書

5　本人及び本人と生計を同じくする親族の住民票

6　前年度の成績証明書（該当者のみ）

様式第２号(第２条関係)

家　計　調　書

ふりがな 氏　　名		本人 住所	
生年月日	年　月　日(　　歳)	家族 住所	

在学校名	校　名 学部名 学科名 学　年　　年	出身学校	校　名 科　名 (全日制・定時制) (卒業年度　　年度)
該当に○	高等専門学校・専攻科・大学		

家計支持者○印	続　柄	氏　　名	年齢	職　業	勤務先・在学校名	所得金額(万円)	備　考
別居者×印	1						
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						

生計を共にしない家族 (血族２親等以内)	祖父母・父　母・兄弟姉妹 (　人)　(　人)　(　人)	理由	世帯への年間援助額 万円

上記以外の臨時的な所得　　万円 その内訳	公的年金・手当等 名　　称 金額(年額)　　万円

奨学金を必要とする理由

上記の家計状況に相違ありません。

令和　　年　　月　　日

本　　人　　㊞

保　証　人　　㊞

保　証　人　　㊞

(注)

1　失業中の家族があるときは、その旨を備考欄に記入のこと。

2　受給中の奨学金があるときは、その旨を備考欄に記入のこと。

3　大学生は、学資の内授業料年額を備考欄へ記入のこと。

記入例

様式第２号(第２条関係)

住民票の異動の有無に関わらず現住所を記入すること。

家　計　調　書

ふりがな 氏　　名		本人住所	
生年月日	年　月　日(　　歳)	家族住所	
在学校名	校　名 学部名 学科名 学　年　　年	出身学校	校　名 科　名 (全日制・定時制) (卒業年度　　年度)
該当に○	高等専門学校・専攻科・大学		

家計支持者に○印を記入する。単身赴任等で別居している方には×印を記入すること。その他欄外の(注)に該当する場合は記入すること。

家族及び所得家計支持者○印 別居者×印	続　柄	氏　名	年齢	職　業	勤務先・在学校名	所得金額(万円)	備　考
	1 本人						
	2 父						
	3 母						
	4 弟						
	5 妹						
	6						
	7						
	8						

生計が同一の者全員（本人含む）を記入する。
（単身赴任、進学等による別居者も、生計が同一であれば記入）

生計が同一の者全員の令和３年中の所得金額を記入する。
（源泉徴収票などから所得金額を転記）

別生計の祖父母、父母、兄弟姉妹があれば、それぞれの人数を記入する。
また、金銭援助があれば、その額を記入すること。

生計を共にしない家族 (血族２親等以内)	祖父母・父　母・兄弟姉妹 (　人)　(　人)　(　人)	理由	世帯への年間援助額 万円

上記以外の臨時的な所得　　万円 その内訳	公的年金・手当等 名　　称 金額(年額)　　万円

遺族年金、児童扶養手当等があれば記入する。

奨学金を必要とする理由

別生計の祖父母、父母、兄弟姉妹などからの金銭援助のほかに、臨時的な所得があれば記入する。

上記の家計状況に相違ありません。
令和　　年　　月　　日

a．奨学金志望動機
b．学業に対する思い
c．奨学金給付を希望する学校を卒業後の進路
d．将来の夢
を具体的に記載すること。

㊞
㊞
㊞

(注)

1　失業中の家族があるときは、その旨を備考欄に記入のこと。
2　受給中の奨学金があるときは、その旨を備考欄に記入のこと。
3　大学生は、学資の内授業料年額を備考欄へ記入のこと。

様式第３号（第２条関係）　　（高等学校長推薦）

奨　学　生　推　薦　調　書

出身校（　　）高等学校成績（　　年　　月卒）

教科＼学年	第２学年					第３学年					備考
評定	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
国語											
地理歴史											
公民											
数学											
理科											
保健体育											
芸術											
外国語											
家庭											
情報											
専門学科											
専門学科											
専門学科											
評定別科目数											

高等学校評定平均値

評定	科目数		評定値
5×	（　　）	＝	（　　）
4×	（　　）	＝	（　　）
3×	（　　）	＝	（　　）
2×	（　　）	＝	（　　）
1×	（　　）	＝	（　　）
合計A	（　　）	B	（　　）

$$\frac{B}{A} = \boxed{}$$

評定平均値

在学校

立　　大学
学部　　学科
課程　　第　　学年

氏　名　　男・女

成績欄記入者

氏名　　㊞

◎判定

◎奨学生番号

（注意）１　高等学校成績は、各教科とも評定別に履修科目数を記入する。
　　２　◎印の欄は記入しない。

	第　1　学　年	第　2　学　年	第　3　学　年
特別活動の記録	ホームルーム・生徒会活動	ホームルーム・生徒会活動	ホームルーム・生徒会活動
	(所　見)	(所　見)	(所　見)

	第　1　学　年	第　2　学　年	第　3　学　年
指導上参考となる諸事項	(学習所見)	(学習所見)	(学習所見)
	(行動の記録)	(行動の記録)	(行動の記録)
	(趣味・特技・取得資格等)	(趣味・特技・取得資格等)	(趣味・特技・取得資格等)
	(部活動・ボランティア活動等)	(部活動・ボランティア活動等)	(部活動・ボランティア活動等)
	(進路等)	(進路等)	(進路等)

上記の者は、人物、学業ともに特に優秀であって、学資の支弁が困難でありますので、松江市高井奨学金奨学生として適当と認め、推薦します。

令和　　年　　月　　日

松江市長　上定　昭仁　様

高等学校長（氏名）　　職印

記入例

出身学校が高等学校に該当する場合

様式第３号（第２条関係）　　（高等学校長推薦）

奨学生推薦調書

出身校（　　）高等学校成績（　　年　　月卒）

教科＼学年	第２学年					第３学年					備考
評定	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
国語		2				1	1				各教科の成績を５段階で評価し、評定欄に該当の教科数を記入する。
地理歴史		1					2				
公民		1					1				
数学		2					2				
理科	1						1				
保健体育		1									
芸術		1				1					
外国語		2					2				
家庭											
情報											
専門学科											
評定別科目数	1	10				2	9				

高等学校評定平均値

評定	科目数		評定値
5×	(3)	=	(15)
4×	(19)	=	(76)
3×	( )	=	( )
2×	( )	=	( )
1×	( )	=	( )
合計A	(22)	B	(91)

$$\frac{B}{A} = \boxed{\sim 4.1}$$

評定平均値

小数点第１位未満四捨五入。

在学校

立　　大学
学部　　学科
課程　第　　学年

氏名　　男・女

成績欄記入者

氏名　　㊞

記入者の氏名を記入する。

◎判定

◎奨学生番号

（注意）１　高等学校成績は、各教科とも評定別に履修科目数を記入する。
　　２　◎印の欄は記入しない。

記入例

	第　1　学　年	第　2　学　年	第　3　学　年
特別活動の記録	ホームルーム・生徒会活動	ホームルーム・生徒会活動	ホームルーム・生徒会活動
	(所　見)	(所　見)	(所　見)
	第　1　学　年	第　2　学　年	第　3　学　年
指導上参考となる諸事項	(学習所見)	(学習所見)	(学習所見)
	(行動の記録)	(行動の記録)	(行動の記録)
	(趣味・特技・取得資格等)	(趣味・特技・取得資格等)	(趣味・特技・取得資格等)
	(部活動・ボランティア活動等)	(部活動・ボランティア活動等)	(部活動・ボランティア活動等)
	(進路等)	(進路等)	(進路等)

上記の者は、人物、学業ともに特に優秀であって、学資の支弁が困難でありますので、松江市高井奨学金奨学生として適当と認め、推薦します。

令和　　年　　月　　日

松江市長　上定　昭仁　様

高等学校長（氏名）　　職印

様式第４号（第２条関係）　　（高等専門学校長推薦）

奨　学　生　推　薦　調　書

出身校（　　）高等専門学校成績（　　年　　月卒）

教科＼学年	第２学年					第３学年					備　考
評定	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
国　語											
地理歴史											
公　民											
数　学											
理　科											
保健体育											
芸　術											
外国語											
家　庭											
情　報											
専門学科											
専門学科											
専門学科											
評定別科目数											

高等専門学校評定平均値

評定	科目数		評定値
5×	（　　）	＝	（　　）
4×	（　　）	＝	（　　）
3×	（　　）	＝	（　　）
2×	（　　）	＝	（　　）
1×	（　　）	＝	（　　）
合計A	（　　）	B	（　　）

$$\frac{B}{A} = \boxed{}$$

評定平均値

在学校

立　　高等専門学校
学科　　第　　学年
専攻科　　専攻　　第　　学年

氏　名　　男・女

成績欄記入者

氏名　　㊞

◎判定

◎奨学生番号

（注意）１　高等専門学校成績は、各教科とも評定別に履修科目数を記入する。
２　◎印の欄は記入しない。

	第　1　学　年	第　2　学　年	第　3　学　年
特別活動の記録	ホームルーム・生徒会活動	ホームルーム・生徒会活動	ホームルーム・生徒会活動
	(所　見)	(所　見)	(所　見)

	第　1　学　年	第　2　学　年	第　3　学　年
指導上参考となる諸事項	(学習所見)	(学習所見)	(学習所見)
	(行動の記録)	(行動の記録)	(行動の記録)
	(趣味・特技・取得資格等)	(趣味・特技・取得資格等)	(趣味・特技・取得資格等)
	(部活動・ボランティア活動等)	(部活動・ボランティア活動等)	(部活動・ボランティア活動等)
	(進路等)	(進路等)	(進路等)

上記の者は、人物、学業ともに特に優秀であって、学資の支弁が困難でありますので、松江市高井奨学金奨学生として適当と認め、推薦します。

令和　　年　　月　　日

松江市長　上定　昭仁　様

高等専門学校長（氏名）　　職印

記入例　出身学校が高等専門学校に該当する場合

様式第４号（第２条関係）　　（高等専門学校長推薦）

奨　学　生　推　薦　調　書

出身校（　　）高等専門学校成績（　　年　　月卒）

教科＼学年	評定	第２学年 5	第２学年 4	第２学年 3	第２学年 2	第２学年 1	第３学年 5	第３学年 4	第３学年 3	第３学年 2	第３学年 1
国語			2				1	1			
地理歴史			1					2			
公民			1					1			
数学			2					2			
理科		1						1			
保健体育			1								
芸術			1				1				
外国語			2					2			
家庭											
情報											
専門学科											
専門学科											
専門学科											
評定別科目数		1	10				2	9			

備考：各教科の成績を５段階で評価し、評定欄に該当の教科数を記入する。

高等専門学校評定平均値

評定	科目数	評定値
5 ×	(3) =	(15)
4 ×	(19) =	(76)
3 ×	( ) =	( )
2 ×	( ) =	( )
1 ×	( ) =	( )
合計A	(22)	B (91)

$\frac{B}{A}$ = 4.1　（評定平均値）

小数点第１位未満四捨五入。

在学校

立　　高等専門学校
学科　第　　学年
専攻科　専攻　第　　学年

氏　名　　男・女

成績欄記入者

氏名　　㊞

記入者の氏名を記入する。

◎判定

◎奨学生番号

（注意）１　高等専門学校成績は、各教科とも評定別に履修科目数を記入する。
２　◎印の欄は記入しない。

記入例

	第　1　学　年	第　2　学　年	第　3　学　年
特別活動の記録	ホームルーム・生徒会活動	ホームルーム・生徒会活動	ホームルーム・生徒会活動
	(所　見)	(所　見)	(所　見)

	第　1　学　年	第　2　学　年	第　3　学　年
指導上参考となる諸事項	(学習所見)	(学習所見)	(学習所見)
	(行動の記録)	(行動の記録)	(行動の記録)
	(趣味・特技・取得資格等)	(趣味・特技・取得資格等)	(趣味・特技・取得資格等)
	(部活動・ボランティア活動等)	(部活動・ボランティア活動等)	(部活動・ボランティア活動等)
	(進路等)	(進路等)	(進路等)

上記の者は、人物、学業ともに特に優秀であって、学資の支弁が困難でありますので、松江市高井奨学金奨学生として適当と認め、推薦します。

令和　　年　　月　　日

松江市長　上定　昭仁　様

高等専門学校長（氏名）　　職印

様式第５号（第２条関係）

所得状況等の調査に関する同意書

令和　　年　　月　　日

松江市長　上定　昭仁　様

本人住所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

本人氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞

電話番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

保護者住所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

保護者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞

電話番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

私は、松江市高井奨学金の申請を行うにあたり、松江市で私及び同一世帯の者の所得状況、その他申請内容の確認を行うために必要な調査を行うことに同意します。